

各部の名称と機能

各キーの機能説明

- 【PTT】送信キー**

送信するときに押します。離すと待ち受け状態になります。
- 【▲】【▼】キー**

【▲】：チャンネル番号が上がります。

【▼】：チャンネル番号下がります。

 - メニューのオートチャンネルセレクトキー設定「SCn」が「on」に設定されているときは、1秒以上押すとオートチャンネルセレクトを開始します。
- 音量つまみ**

右に回す：音量を大きくします。

左に回す：音量を小さくします。
- 【⓪】キー**

押す(0.5秒以上)ごとに電源が入ったり/切れたりします。
- 【MENU】キー**
 - 押すとグループ番号を表示します。
 - 押しながら電源を入れると、メニューを表示します。
 - 押し続けるとキーロック機能が働きます。

表示部のアイコン説明	
表示	説明
	電池の残量(めやす)を表示します。
	受信中の電波状態を表示します。＜電波メーター＞
	キーロック機能が働いているときに表示します。
	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
	送信中に表示します。＜送信アイコン＞
	受信中に表示します。＜受信アイコン＞
	PTTホールドが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

操作のしかた

グループ番号の設定
他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、混信がなくなつて快適に通話ができます。 <div>1 【MENU】を押す <div>グループ番号設定画面になります。</div> 2 【▲】または【▼】を押す <div>グループ番号が切り替わります。</div> <div>設定範囲 <div>oFF、1～38</div> <ul style="list-style-type: none">【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してグループ番号が切り替わります。 </div> 3 【MENU】を押す <div>または10秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。</div> <div> <ul style="list-style-type: none">他のグループと同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえないでも受信状態になり、＜受信アイコン＞と電波メーターが点灯します。このときに【PTT】を押しても「ブー」と鳴って送信できません。 バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、＜受信アイコン＞が点滅表示することがあります。</div></div>
オートチャンネルセレクト
自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。スキャン中に 【PTT】 を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信します。 <ul style="list-style-type: none">オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。 <ul style="list-style-type: none">グループ番号の設定：1～38 オートチャンネルセレクトキー設定:「on」「SCn」(本機の【▲】、【▼】を使用するとき) リモートキー設定：「on」「REm」(オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき)
1 本機の 【▲】 、 【▼】 を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの 【2】 を1秒以上押す「SCn」と表示され、スキャンを開始します。 <div></div>
2 【PTT】 を2～3秒押し続ける
3 ＜受信アイコン＞が消えてから、 【PTT】 を押して応答する
オートチャンネルセレクトを解除する
4 本機の 【▲】 、 【▼】 、 【MENU】 を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの 【2】 を1秒以上押す表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。 <div> <ul style="list-style-type: none">10秒以内に応答してください。10秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。 オートチャンネルセレクト中にモニター機能をONにするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。 グループ番号がoFFのときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。</div>

操作のしかた

通信操作
1 【⓪】 を押す(0.5秒以上) <div>電源が入り、チャンネル番号が表示されます。</div> 2 音量つまみを半分ぐらい右に回す <div></div>
3 【▲】【▼】 を押して通信するチャンネル番号に切り替える <div>【▲】を押すとチャンネル番号が上がります。<div>【▼】を押すとチャンネル番号下がります。</div> </div> <div>【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が切り替わります。</div> <div>9チャンネル機と通信する場合 <div>h1～h9に合わせます。</div> <div>11チャンネル機と通信する場合 <div>1～11に合わせます。</div></div></div>
4 【PTT】 を押しながら話す <div><送信アイコン＞が点灯し、送信状態になります。</div> <div></div> <div>マイク部から口を5cmぐらい離してお話してください。</div>
5 話し終わったら、 【PTT】 から指を離す <div>待ち受け状態になります。</div> <div>受信すると＜受信アイコン＞と＜電波メーター＞が点灯します。</div> <div></div>

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
＜電波メーター＞のレベル表示について
電波状態のめやすを3段階で表示します。

	3本点灯 (強電界)	2本点灯 (中電界)	1本点灯 (弱電界)
--	------------	------------	------------

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
＜電波メーター＞のレベル表示について
電波状態のめやすを3段階で表示します。

	3本点灯 (強電界)	2本点灯 (中電界)	1本点灯 (弱電界)
--	------------	------------	------------

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
＜電波メーター＞のレベル表示について
電波状態のめやすを3段階で表示します。

	3本点灯 (強電界)	2本点灯 (中電界)	1本点灯 (弱電界)
--	------------	------------	------------

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
＜電波メーター＞のレベル表示について
電波状態のめやすを3段階で表示します。

- 手順4と5の操作を繰り返して、通信するトランシーバーを使用しないときは**【⓪】**を押し(0.5秒以上)電源を切ります。
 - 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
 - トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	3本点灯 (強電界)	2本点灯 (中電界)	1本点灯 (弱電界)
--	------------	------------	------------

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
＜電波メーター＞のレベル表示について
電波状態のめやすを3段階で表示します。

	3本点灯 (強電界)	2本点灯 (中電界)	1本点灯 (弱電界)
--	------------	------------	------------

- 手順4と5の操作を繰り返して、通信するトランシーバーを使用しないときは**【⓪】**を押し(0.5秒以上)電源を切ります。

- 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
- トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

通信時間の制限

本機の1回の通信時間は、送信・受信を合わせて3分間です。通信終了の30秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると「ビッ」と予告音が鳴り、3分を経過すると送信禁止音(ブー)とともに送信を停止し、待ち受け状態に戻ります。続けて通信するときは、送信停止2秒後に**【PTT】**を押して相手を呼び出してください。

	残り時間(点滅)
--	----------

操作のしかた(続き)

メニュー
各機能の設定をします。 <div>メニューの操作</div> 1 【⓪】 を押し、一度電源を切る
2 【MENU】 を押しながら 【⓪】 を押し、電源を入れる <div>メニューの設定画面が表示され、設定項目が点滅します。</div> <div></div>
3 【▲】 または 【▼】 を押す <div>押すごとに設定項目が切り替わります。</div>
4 【MENU】 を押す <div>設定値が点滅します。</div>
5 【▲】 または 【▼】 を押す <div>設定値を選択します。</div> <div></div>

- 【MENU】**を押す

設定値が確定して、設定項目選択に切り替わります。
- 【MENU】**を1秒以上押す

メニューが終了します。

 - 【PTT】を押しても終了します。

表示	設定項目	設定値	初期値
bEP	ビーブ音	oFF/on	on
bty	バッテリー種別	AL/ni	AL
APo	オートパワーオフ	oFF/on	oFF
SCn	オートチャンネルセレクトキー (本機)	oFF/on	oFF
t-i	送信禁止	oFF/on	oFF
PHd	PTTホールド	oFF/on	oFF
R-t	PTTホールド自動復帰	oFF/on	oFF
Ctn	コールトーン音色	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10	1
SqL	スケルチレベル	oFF/1/2/3	2
LUd	ラウドネス	oFF/on	oFF
SAV	バッテリーセーブ	oFF/on	on
REm	リモートキー	oFF/on	oFF
LoC	キーロック長押し時間	1/2/3/4/5	1
C-	チャンネル非表示	oFF/on/LoC	oFF
bLt	バックライト動作	oFF/ACt/Any/on	ACt

	キーを操作したときに鳴る確認音をビーブ音といいます。この機能を「oFF」に設定すると、このビーブ音を鳴らさないようになります。
oFF	ビーブ音は鳴りません。
on	ビーブ音が鳴ります。
	<ul style="list-style-type: none">以下の警告音、予告音などはビーブ音を「oFF」に設定しても鳴ります。 <ul style="list-style-type: none">通信時間制限予告音 オートパワーオフ警告音 送信禁止音 コールトーン バッテリー減電圧警告音

	使用する電池の種類を設定します。
AL	アルカリ乾電池を使用するとき
ni	バッテリーパック UPB-5Nを使用するとき
	<ul style="list-style-type: none">設定値を選択するときは、使用する電池の種類に合った設定をしてください。誤った設定にすると、電池の残量表示が正しく表示されません。

	この機能を「on」に設定すると、1時間59分の間キー操作をしない場合、電源を切り忘れたとみなして警告音を鳴らします。さらに同じ状態が1分間続くと「APo」と点滅表示して自動で電源を切ります。トランシーバーの電源を切り忘れたときの、電池の消耗を防ぎます。
oFF	オートパワーオフ機能は動作しません。
on	オートパワーオフ機能が動作します。
	<ul style="list-style-type: none">オートチャンネルセレクト中は、オートパワーオフ機能は動作しません。

	この機能を「on」に設定すると、本機の【▲】、【▼】を1秒以上押して、オートチャンネルセレクトができます。
oFF	本機の【▲】、【▼】ではオートチャンネルセレクトは動作しません。
on	本機の【▲】、【▼】でオートチャンネルセレクトが動作します。

	【PTT】を押しても送信させない機能です。トランシーバーを受信専用で使用するときなどに設定します。
oFF	送信動作を許可します。
on	送信動作を禁止します。

	通常は送信するときは【PTT】キーを押し続けますが、本機能を「on」に設定すると、【PTT】キーを一度押せば【PTT】キーを離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】キーを押します。
oFF	【PTT】キーを押し続けると送信状態になり、【PTT】キーを離すと待ち受け状態になります。
on	【PTT】キーを押すと送信状態が継続され、再度【PTT】キーを押すと待ち受け状態になります。

- 「on」に設定すると、が表示され、送信中は点滅します。

	「PTTホールド」が「on」に設定されている場合、通信時間の制限により通信が終了しても、送信休止時間(2秒)後に自動で送信を再開する機能です。
oFF	自動で送信は再開しません。
on	自動で送信を再開します。

- 送信休止時間経過後、使用チャンネルに受信信号がある場合は、送信は再開しません。
- 送信休止時間の間にキー操作があった場合は、送信は再開しません。
- PTTホールド設定「PHd」が「oFF」のときは、PTTホールド自動復帰は動作しません。

グループ番号の設定
他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、混信がなくなつて快適に通話ができます。 <div>1 【MENU】を押す <div>グループ番号設定画面になります。</div> 2 【▲】または【▼】を押す <div>グループ番号が切り替わります。</div> <div>設定範囲 <div>oFF、1～38</div> <ul style="list-style-type: none">【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してグループ番号が切り替わります。 </div> 3 【MENU】を押す <div>または10秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。</div> <div> <ul style="list-style-type: none">他のグループと同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえないでも受信状態になり、＜受信アイコン＞と電波メーターが点灯します。このときに【PTT】を押しても「ブー」と鳴って送信できません。 バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、＜受信アイコン＞が点滅表示することがあります。</div></div>
オートチャンネルセレクト
自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。スキャン中に 【PTT】 を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信します。 <ul style="list-style-type: none">オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。 <ul style="list-style-type: none">グループ番号の設定：1～38 オートチャンネルセレクトキー設定:「on」「SCn」(本機の【▲】、【▼】を使用するとき) リモートキー設定：「on」「REm」(オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき)
1 本機の 【▲】 、 【▼】 を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの 【2】 を1秒以上押す「SCn」と表示され、スキャンを開始します。 <div></div>
2 【PTT】 を2～3秒押し続ける
3 ＜受信アイコン＞が消えてから、 【PTT】 を押して応答する
オートチャンネルセレクトを解除する
4 本機の 【▲】 、 【▼】 、 【MENU】 を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの 【2】 を1秒以上押す表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。 <div> <ul style="list-style-type: none">10秒以内に応答してください。10秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。 オートチャンネルセレクト中にモニター機能をONにするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。 グループ番号がoFFのときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。</div>

- 他のグループと同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえないでも受信状態になり、＜受信アイコン＞と電波メーターが点灯します。このときに**【PTT】**を押しても「ブー」と鳴って送信できません。
- バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、＜受信アイコン＞が点滅表示することがあります。

オートチャンネルセレクト

自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。スキャン中に**【PTT】**を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信します。

- オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。
 - グループ番号の設定：1～38
 - オートチャンネルセレクトキー設定:「on」「SCn」(本機の【▲】、【▼】を使用するとき)
 - リモートキー設定：「on」「REm」(オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき)

- 本機の**【▲】**、**【▼】**を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの**【2】**を1秒以上押す「SCn」と表示され、スキャンを開始します。

	グループ番号
--	--------

- 【PTT】**を2～3秒押し続ける

- ＜受信アイコン＞が消えてから、**【PTT】**を押して応答する

オートチャンネルセレクトを解除する

- 本機の**【▲】**、**【▼】**、**【MENU】**を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの**【2】**を1秒以上押す表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。

- 10秒以内に応答してください。10秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。
- オートチャンネルセレクト中にモニター機能をONにするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。
- グループ番号がoFFのときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。

モニター
電波が弱いときにスケルチ(雑音消去回路)を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。 <div>モニターする</div> <div>1 【⓪】を押し、一度電源を切る</div> <div>2 【▼】を押しながら【⓪】を押し、電源を入れる <div>スケルチが開いて、＜受信アイコン＞と電波メーター>が点灯します。</div> <div></div> <ul style="list-style-type: none">信号を受信していないときは「ザー」という雑音ができます。音量レベルを調整するときのめやすにもできます。</div>

オプションのリモート対応マイクロホンを接続している場合は(リモコンキー設定《REm》を「on」に設定してください。)
1 オプションのリモート対応マイクロホンの**【1】**を押す
押している間スケルチが開きます。

コールトーン呼び出し

相手を電話の呼び出し音のような音(コールトーン)で呼び出すことができます。コールトーンは6種類から選択できます。また、4種類のメモディートーンも選択できます。

本機のキーでコールトーン呼び出しをするとき

- 【PTT】**を押したまま**【▲】**を押す
押している間コールトーンが送信されます。

オプションのリモート対応マイクロホンのキーを押して、コールトーン呼び出しをするとき

- リモートキー設定《REm》を「on」に設定しておきます。

- オプションのリモート対応マイクロホンの**【3】**を押す
押している間コールトーンが送信されます。
 - 【PTT】を押したままリモート対応マイクロホンの**【3】**を押しても送信されず。

- キーロックが動作しているときもコールトーンを送信することができます。

キーロック

間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。

- キーロックに連動して表示を消すこともできます。《「チャンネル非表示設定」》

キーロックをする

- 【MENU】**を「**キーロック長押し時間**」で設定した時間以上押す
キーロックが動作します。キーロック中はが点灯します。

	点灯
--	----

- 【MENU】**を設定した時間以上押す
キーロックが解除され、が消灯します。

	点灯
--	----

キーロックを解除する

- 【MENU】**を設定した時間以上押す
キーロックが解除され、が消灯します。

	点灯
--	----

チャンネル非表示設定	
チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。	
oFF	チャンネルやグループ番号を表示します。
on	チャンネルやグループ番号は表示しません。
LoC	キーロック時にチャンネルやグループ番号を表示しません。
	<ul style="list-style-type: none">この機能を「on」または「LoC」に設定している場合は、チャンネルを切り替えると、切り替えたチャンネルを2秒間表示します。電源を入れたときも現在のチャンネルを2秒間表示します。

	表示部照明の点灯条件を設定します。
--	-------------------

oFF	バックライトは常に消灯します。
ACt	【PTT】以外のキーを操作したときにバックライトが5秒間点灯します。
Any	キーを操作したときや信号を送信/受信するとバックライトが5秒間点灯します。
on	バックライトが常に点灯します。

リセット

リセットすると、設定されている内容は全てお買い上げ時の状態に戻ります。

- 一度電源を切る
- 【▲】**と**【▼】**を押しながら、**【⓪】**を押して電源を入れる
表示が全点灯します。

--	--

- UTB-10で使用していないアイコンも表示されます。

- 【▲】**、**【▼】**、**【⓪】**のいずれかのキーを離す
確認画面が表示されます。

- 【PTT】**を押す
設定がリセットされて初期値に戻り、待ち受け状態になります。

--	--

- 【PTT】以外のキーを押した場合は、リセットしないで待ち受け状態に戻ります。